



マングローブ林の破壊と 行政と住民の共同による取り組み ーネグロス島を事例にー


JICA草の根支援プロジェクト
プロジェクトマネージャー
倉田 麻里


自己紹介

- 趣味
 - スキー→登山→山仕事
 - 英語→国際交流→海外旅行
- 大学で
 - 森林科学、造林学、森林資源管理学
 - 山仕事サークル、環境NGO、林業研究会
 - 海外研修、海外旅行、海外インターンシップ、国際学生寮生活

就職先を探しているときに **イカオ・アコ**と出会う




IKAW-AKO




今やっていること

- JICAプロジェクトマネージャー
- イカオ・アココーディネーター
 - マングローブプロジェクト
 - 地域住民支援
 - ツアーコンダクター
 - 広報(Web)
- TUPの日本語アシスタントティーチャー
- シライ市観光課ボランティアスタッフ



IKAW-AKO


フィリピンのマングローブ林の減少

マングローブの減少

- 1900年初頭には、フィリピンには約45万haのマングローブ林があった。
- 1970年代前半でも、40万haは残っていた。
- ところが1994年には、15万haをきった。

なぜ???

- 1950年代に紹介され、70年代から急速に拡大した、魚の養殖池造成が主な原因
- 住宅地造成、道路建設、農地転換(稲・ココナッツ)



IKAW-AKO



ネグロス島では?



IKAW-AKO

MRFPの概要

1. 地域住民にマングローブの大切さを伝える
2. 地域住民がマングローブを植林する
3. 住民が植えなおし、メンテナンスを行う
 - 州・市・村・住民団体(PO)が共同で行う
 - 行政がモニタリング、技術指導、種の供給(近くで取れないところのみ)を行う
 - 行政が植林本数に応じたインセンティブを与える
(例: 米8kg/100本)
- 行政がPOの経済的自立を支援

IKAW-AKO

マングローブ(リゾフォラ)植林の成果

1994年	1,592,710本
1995年	4,738,928本
1996年	1,599,846本
1997年	642,062本
1998年	815,547本
合計植林本数	9,674,947本
1998年時点の残存数	7,127,703本

→ 6市郡、46のプロジェクトサイトで、約1000万本が植林され、700万本が定着。500ha以上の森林が回復

IKAW-AKO

植樹地と植樹の様子



IKAW-AKO

現在は、、、

植林の成果

- ほとんどの海岸線、河口の河川沿いにはマングローブ林が戻ってきた
- 植林した木にも実がついて天然更新も始まっている
- POには、マングローブの大切さが認識されている(大きくなったマングローブ林の恩恵を受けている)

植林の問題点

- 一部過密林に
- 植林木も利用できない(マングローブ樹種は一切伐採が禁止されている)

IKAW-AKO

ヤエヤマヒルギの過密林



IKAW-AKO

JICAプロジェクトの課題

JICAプロジェクトの目標は

- 20万本の植林
- マングローブにやさしい生計支援
- 教育機関と連携した環境教育

ところが、

- 当初植林予定地がリゾフォラに適さないところだった(リゾフォラ植林適地にはすでに植えられている)

IKAW-AKO




植樹以外にできることは？

- 今ある森を守る
 - 違法伐採、違法漁業の監視
 - フェンスを立てて、船から守る
 - 今ある森から天然更新
- コミュニティーの収入向上支援
(養殖、農業、手工芸、商店・・・)
- 周りの人に広める
 - PO以外の方はマングローブを意外と知らない！？

IKAW-AKO

あなたにもできる！

- あなたの笑顔が、コミュニティを支える！
- 子供たちの笑顔が、あなたを支える！
- 言葉だけじゃない！



IKAW-AKO

Thank you!
ありがとうございました

SALAMAT GID

IKAW-AKO